平成２７年１２月１５日第３３号発行

基本理念

　どんなに重い障害があっても“何かが出来る”一人で出来なかったら、“みんなで助け合う”そして多くの方々との交流を大切にして、地域社会の中に生活の基盤を築いていきたい。

The いずみ園 TIMES

生活介護事業所

編集・発行
社会福祉法人　緑の会
〒277-0042
千葉県柏市逆井３４１
TEL：04-7176-8085（代）
FAX：04-7176-8087
HP：http://www.izumien.jp/
e-mail：front@ izumien.jp

小春日和の良い天気でした。

越谷 AEON LakeTown

遠　足

に行ってきました。

平成２７年１１月２４日（火）

↑福祉バスの車内。バスでの移動は「ザ・遠足」ですねー。

↑「いってらっしゃーい！」大手を振ってバスを見送る保護者の皆さんたち。

↑お昼ご飯を相談中。寿司が優勢か。

→食事も済んで、これから買い物にいくところ。

↑いろいろ意見はありましたが（笑）、回転寿司屋さんになりました。

←広―い館内は大変ですね。少し休憩しているところです。

“感謝”

いずみ園 二十三周年記念講演会

「3・11を忘れない為に、私たちが準備できること」

特定非営利法人神奈川県障害者自立生活支援センター

小野和佳 氏

平成二十七年十月一日（木）おかげさまで、いずみ園は二三回目の誕生日を迎えることができました。

当日は左記にありますように、講師に小野和佳氏をお招きし、利用者、保護者お客様、職員約１２０名の前で、障害当時者ならではの視点からの被災体験や、防災に関してのお話をしていただきました。

講師の最後の言葉で「あの震災を忘れないようにすることは、日ごろからの地域のつながりで、話し合いの場、集まりの場を、結論が出なくても続けることが大切」とおっしゃいました。

普段からの人と人とのつながりが、薄れていく記憶を防ぎ、被災をしたときにお互いが助け合える環境をつくるのだと実感しました。

ご来場の皆様、ありがとうございました。次へ向けて邁進してまいります。

↑具体例を挙げて、ゆっくりとわかりやすくお話をしてくださいました。

いずみ園の facebook 見てね。

【報告】

「二次障害は予防できる!?」

第４８回全国・第４６回中国四国肢体不自由児者父母の会連合会全国大会香川大会　講演会

「障害者の二次障害を防止して残存機能を最大限に発揮するためのシーティング」

～シーティングで変わる車いす使用者の生活～

快適性の向上・離床時間の延長・二次障害の防止
機能性の向上・自立支援・介護軽減のために

講師：山崎泰広
（シーティング・スペシャリスト）

↑講師山崎氏の著書。シーティングについてこれまでの考え方が、がらりと変わってしまうかもしれません。

第４８回全国・第４６回中国四国肢体不自由児者父母の会連合会全国大会香川大会・に参加してまいりました。その中で上記の講演会があり、「これまでの考え方を変えなくては！」という意識になりましたので、是非知っていただきたいと考え報告をさせていただきます。

「二次障害」とは変形をはじめとする後発的な障害のことです。例えば成長するに従い、背骨が曲がったり（側弯）、猫背になる（円背）など体が変形していくことは、障害のある人にとっては、障害があるから仕方方のないこと、また「運命」だとあきらめている方が多いと推察します。

しかし、骨盤、下肢、体幹／上肢、頭／首を評価して、目的に合うような車いす、座盤、機器を使用することで、「二次障害は予防できる」ということです。

このような考え方は世界標準で世界大会のようなものもあるらしいのですが、日本は残念ながらその大会には参加していないようです。日本はこの点については後進国なのです。

講師の山崎氏はご自身が転落事故で車いす生活ですが、アメリカでのリハビリ体験を活かし、１９９３年からシーティングスペシャリストとして、全国各地でご講演をされています。

ご講演は適切なシーティングを行う前・後の事例を写真で比較したり、骨盤の模型を使用して、骨盤の後傾による問題と改善策、座面と背面との関係や骨盤の片側への傾きの原因とその改善サポート等を具体的に説明され、全てが論理的でふんふんと納得できるものでした。

著書の中では、シーティングのいう技術を使うことで、変形などの二次障害を防止でき、家族の負担が減っただけでなく、パソコンが使えるようになったりコミュニケーションがとれるようになったりと、素晴らしい変化がたくさん起こっているとしています。

←講演中の様子。器具、機器を使用しながらのお話でした。

【写真提供：全肢連様】

評議員改選

平成二十七年九月十八日に行われた理事会におきまして、緑の会評議員の選任が行われ、１３名全員が再任されましたこと、ご報告いたします。これからも緑の会のチェック機関として、ご意見をいただければと存じます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○小島　琢夫
（NPO 法人笑実里理事）
○桜井　和子
（いずみ園ボランティア）
○佐藤　公子
（緑の会職員）
○鈴木　子郎
（柏市中央倫理法人会相談役）
○滝本二三江
（緑の会理事）
○鳥海　和子
（いずみ園保護者）
○中川すみ子
（元柏みどりライオンズクラブ会員）
○西脇理知子
（柏市肢体不自由児（者）を育てる会会長）
○花島　秀行
（柏ライオンズクラブ会員）
○丸山　高志
（元柏青年会議所理事長）
○水野治太郎
（いずみ園サポートの会会長）
○山田　敬助
（柏ライオンズクラブ会員）
○渡辺　俊雄
（地域支援者）
※敬称略・五十音順

いずみ園の facebook「いいね！」押してね。

増尾台ウィズホーム ひまわり

みんなのしゃべり場

←実際のひまわりの様子です。自分たちのことなので、楽しく真剣に話が進んでいるようです。

今年度より、「みんなのしゃべり場」として月に１回入居者ミーティングを行ってきました。第１回ではミーティング名を決めました。様々な意見が出てきました。その中で最終的に花の名前の「カーネーション・ひまわり、朝顔」三つの中から多数決で、「ひまわり」とネーミングが決定しました。今年の夏は、ひまわりの話し合いで、なすときゅうりを育てようと決めて、家庭菜園に挑戦しました。きゅうりは、食すことのできないものが１本と残念な結果に終わりましたが、なすを２本収穫して皆で麻婆茄子を作りました。

→家庭菜園でとれた３本中２本のなすと、その他の食材を職員と調理しています。

→ひまわりで皆で決めた初めての事「家庭菜園」。結果は少し残念でしたが、そのプロセスが大事ですねー。

今月で第８回目となるひまわりを、ホームの皆で旅行もできたらと、行き先、費用の積み立てなどについて、夕食を済ませてから３０分程行いました。

時には話し合いに参加したくないという男性陣もいたりしますが、なんだかんだ円の中に加わっています。やはり話すことは男性より女性の方が得意なのでしょうか。

まだ、職員が主に司会進行を行っていますが、今後は入居者皆さんから議題を発信して頂き、なんでも話せる場所となるよう努めてまいります。

-まちたんけん- 町探検

逆井小学校２年生

↑入浴リフト。実際に昇降体験して、体験した本人からも周りからも「おー」と驚きの声があがりました。

↑最後の質問タイム。仕事で大変なことは？楽しいことは？　必死でメモしています。

「おはようございます！よろしくお願いします！」

少し緊張した面持ちですが、どこか興味深々。目をキラキラ輝かせて、いずみ園の玄関に今年も元気な声がやってきました。

車椅子の方用の園内の広さに驚き、また工夫された園内の設備の話を聞いたり、体験したり、短い時間でしたが様々な体験ができたようです。

お礼の文書と感想を後日いただきました。感謝のことばや「勉強になりました」、中には「いずみ園で働きたい」と書いてくれている生徒さんも２名いて、嬉しくなりました。

また来年も来てね！

→もう一つのグループの皆さんです。いっぱい勉強できたかな？

【写真提供（上２つ）：逆井小学校様】

23th いずみ園祭

平成27年 10月18日(日)
11:00～14:00

天気にも恵まれ、多くの方にご協力、ご来園いただき、例年以上に大変盛り上がりました！皆様ありがとうございました！

←コズミック☆倶楽部と市立常盤台学院の皆さんと利用者さんで❤❤

→逆井小学校のブラスバンド部。素晴らしい生演奏を披露していただきました。

↓催事の最後は柏おやじダンサーズ、コズミック☆倶楽部、市立常盤台学院、利用者、来場者全員で、台本にないパフォーマンスとなりました。

↑保護者有志の皆さんも毎年焼きそば、フランクフルトをやっていただいています。感謝！

←いずみ園祭に初めての参加の利用者さん（右）。先輩利用者さんと職員とで盛り上がってますねー。

→光ケ丘商店会のキララちゃんとうららくんも応援に駆け付けくださり、来場者の人気者でした！

いずみ園・増尾台ウィズホーム スタッフ職員募集

生活支援員：常勤、非常勤
（8:30-17:00,10:00-15:00）

世話人（調理/家事）：非常勤
（13:00-18:00）

※増尾台ウィズホーム（グループホーム）の勤務です。

「いずみ園」は車いす利用の障害のある方の通所施設（定員４０名）で、「増尾台ウィズホーム」は通所している障害のある方が保護者から自立して暮らしているグループホーム（８名）、ショートステイ（２名）です。

詳細は下記ホームページの求人情報をご覧ください。

http://www.izumien.jp/recruitment.html

ボランティア募集

いずみ園では、利用者と共に作業、外出、移動、食事介助して下さる方のご協力をお待ちしています！！

住所：〒277-0042　柏市逆井３４１番地
電話：04-7176-8085（代）
Email：izumien@technowave.ne.jp
時間：9 時 30 分～15 時

編集後記

冷戦後の世界の状況を考えると明らかにパワーバランスが崩れてきています。▼いわゆる独裁者が、もしくは力の強い者が支配統治した方安定した秩序が保つことができ、安定した社会を築ける、これは一つの真実です。▼例えば前者はフセインのイラク、後者は世界最大の軍隊力をもつアメリカ。▼フセインがいなくなったこと、そしてアメリカが世界の警察でなくなったことで、アルカイダ、イスラム国のような無秩序が生まれ、悲劇が連鎖しています。▼日本人も他人事ではなくて、考えていかなければならない問題です。

（三井）